

学校図書館支援センター通信 NO.119 2月号

平成29年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

真間小学校 若年層研修「学校図書館活用」

～3年3組書店 POP大賞 齊藤隆介作品～



1月25日（木）真間小学校にて、学校図書館活用の若年層研修が行われました。学校司書が授業に参加している国語科の授業を若年層の先生方が参観しました。実際に授業を参観することで、学校図書館を活用した授業のイメージを持つことができ、学校司書の関わり方、学校図書館活用の授業の作り方について学ぶことができました。今後の実践につながる有意義な研修会となりました。

授業者は、国語主任 千田 和栄先生と学校司書 井垣 葉子さんです。国語科「モチモチの木」を題材に、齊藤隆介

作品へ広げていく学習です。この単元では、学校司書が2回授業に参加しました。単元の導入時に、意欲を持たせるために行った「モチモチの木」に関わるブックトークと「モチモチの木」の学習後、「モチモチの木」の作品と齊藤隆介さんの作品をつなげるために行うブックトークです。

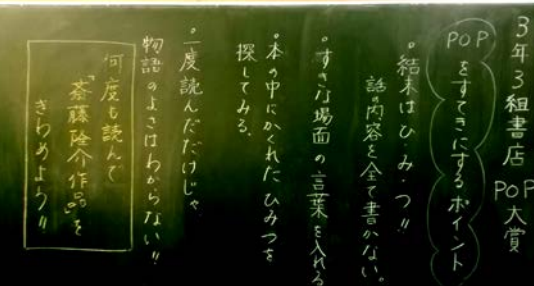
千田先生は、「本のプロの井垣先生に作品のひみつをお聞きします。」と子供たちに伝え学校司書に交代し、学校司書の語り口に子供たちは、すぐに物語の世界に引き込まれていきました。学校司書は、作品のひみつを紹介しながら、学習のゴールであるポップの書き方のポイントも説明していきました。学校司書がポイントを話すと千田先生は、そのポイントを黒板にまとめていきました。



担任と学校司書の二人の息が

ぴったりと合った授業が展開されていました。息の合った授業が展開することができたのは、日頃からお二人がコミュニケーションを大切にしているからです。「今回は、おすすめの齊藤隆介作品をポップで紹介したい」ということを学校司書に相談をして、単元の構想段階から2人で進めていきました。学校司書は、選書の他にも齊藤隆介作品の読書カードやブックトークで使用ワークシートの作成なども行いました。

学校司書も単元のねらいを把握することで、より効果的に授業に関わることができます。学校司書のブックトーク後、お



ブックトーク中に、担任が大切なポイントを黒板にまとめます。

すすめの本を選ぶために、何度も本を読み返す真剣な表情の子供たちの姿も見られました。

第3回学校図書館研修会・ネットワーク会議



1月30日（火）に、今年度最後の「学校図書館研修会・ネットワーク会議」が行われました。文部科学省委託の受け、1年間研究に取り組んできた協力校の中から、塩焼小学校が代表として実践発表をしました。1年間の学校図書館運営や実際の授業の内容、掲示物等、わかりやすく説明していただきました。最後に、学校司書が授業で行ったブックトークの様子も映像として流れ、大変参考となる発表となりました。

北方小では6月に読書週間、11月に読書月間、1月に百人一首をやってみよう月間を設け、「図書館クイズ」「辞書引き大会」「先生のおすすめの本の紹介」「先生方の読み聞かせ」などいろいろな企画を行います。

なかでも交流学年のペアで行う読み聞かせ「なかよしどくしょ」では、読み手は相手を思い浮かべて選書、練習をし、聞き手は自分だけのために本を読んでもらいます。本をはさんでお互いのことを思いやる様子は、見ていて心あたたまります。

これからも本に親しみ、学校図書館が身近に感じられるような働きかけをしていきたいと思えます。

（市川市立北方小学校 学校司書 戸田 京子）



【なかよしどくしょの様子】

稲荷木小学校 どの子も真剣！百人一首大会



冬休みが明けた1月、2月は、百人一首大会を企画している学校も多くあります。今回は、稲荷木学校の百人一首大会の様子を紹介します。

稲荷木小学校では、低学年40首、中学年80首、高学年100首と段階をおって取り組んでいます。12月、1月の学校図書館を利用できる時間には、各学級が図書館へ行き、学校司書と一緒に百人一首を行います。

また、1学年は、毎朝「今日の一句」を音読するなど、日常的に百人一首に親しめるような活動を工夫しているので、多くの児童が40首を暗記するそうです。そのため、百人一首大会の前に行われる予選会では、どの児童が代表

に選ばれてもおかしくない、レベルの高い戦いが繰り広げられます。こうして、各学級4名の代表が選ばれます。

1月24日（水）は、低学年の百人一首大会が行われました。図書委員会の児童が読みます。上の句を読み始めるとすぐに、「はい」という声が学校図書館の中に、響き渡りました。上の句の2文字を聞いただけで札がとれる児童が何人もいるなど、白熱した戦いが繰り広げられました。そのような姿を応援に駆け付けた児童も真剣な眼差しで見つめていました。

「稲荷木小学校の百人一首大会は伝統があります」と学校司書の岡嶋麻記子さんからうかがいました。1年生から取り組んでいるので、百人一首の季節がやってくると、自然と学校全体が百人一首の雰囲気になります。



お願い 3月9日（金）締切の提出書類があります。計画的に準備を進めてくださいますようお願いいたします。

- ①学校図書館活用授業時数調査 ②学校図書館チェックリスト ③学校図書館活用実態調査

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

